

第44回横浜ケーブルビジョン放送番組審議会

開催日時 2024年11月14日(木) 10:30~12:00

開催場所 YCV本社 会議室

番組審議委員 全7名：出席7名／欠席0名

渡邊 敏生会長

河内 宗次郎委員 小磯 守委員 篠崎 顕一委員

瀬沼 幹太委員 宮本 由美子委員 渡邊 晶委員

横浜ケーブルビジョン株式会社

代表取締役社長

田島 真

取締役副社長兼コンテンツ部長

増田 成寿

コンテンツ部制作マネージャー

栗田 浩輔

コンテンツ部編成マネージャー

田光 あずみ(兼事務局)

審議事項

- (1) 編成での取り組みについて
- (2) 自主制作番組について

報告事項

- ・ 放送番組基準についての改定について
- ・ 視聴者からの苦情、意見について
- ・ 監督・関係省庁等公的機関からの注意・指導について

【委員の皆様からのご意見】

- 横浜国立大学の学生を取り上げた「ヨココク TV」について、内容は非常に面白く、学生たちは話も上手で企画を作ることもさすがだと思った。地域にある大学であるが、どのような活動をしている学生がいるのか、どういったサークル活動をしているのか等、分からないことも多かったが、一つの番組として取り上げたことは非常にこの先も楽しみな企画だと感じた。まだまだ地域には多くの学校があり、知らない活動も多くあると思うので、引き続き取り上げていただくと面白いと思う。
- インスタグラムがなかなか伸びていかない。フォロワー数を増やしていくため、こまめに投稿をしてアップする回数を増やす、使える機能をすべて使う、周知の工夫をしていくなど、地道な活動を続けていくことが次の課題だと思う。
- 「グリーン・カレッジ 2024 沖縄・久米島」を興味深く視聴した。実際にキャンプを体験することにより、火起こしや食事作りなど災害に活かせる・協力しあうことを教わることができると感じた。専門的な方から教わり体験する機会は、子どもたちにとって勉強になる。
- 「地域情報便 じもっと!!」の生中継で、リポーターが出ている回もよいが、ディレクターが中継に出ている回に好感が持てる。非常に楽しくやっていて、臨場感もあり実際に見て言葉にして伝えているのがとてもよい。
- 病院に入院した際に、YCV を見ようと思ったが導入されていなかった。また、その時の看護師さんが YCV で放送している番組「えかたり〜ベ紙芝居」を視聴していた縁で、病院のイベントにて紙芝居の上演を行うことができた。ぜひ、病院や教育委員会などを通じて、学校等への導入も検討してほしい。
- 「地域情報便 じもっと!! 夏休みスペシャル 帷子川を歩く」をじっくり見て、子どもたちのところに帷子川で遊んだ思い出が蘇ってきた。
- 1年生の交通事故が非常に多いこともあり、4月後半～7月夏休み前の期間で旭区の小学校全25校にて交通安全教室を行っている。保育園児（5歳児）を集めた交通安全教室も行っており、来年はYCVもテレミンの参加など連携できたらよいと思う。今後は保育園児の交通安全教室の実施拡大をしていきたい。YCVの取材も引き続きお願いしたい。
- 「グリーン・カレッジ 2024 沖縄・久米島」について、子どもたちが初めての出会いにもかかわらず、みんなで力を合わせるというのは大人でもなかなか難しいこと。生きるエネルギーが画面を通して伝わってきた。また、子どもたち一人ひとりの様子が番組にしっかり入っており、撮影や放送の仕方がよく好感が持てた。
- 自分ひとりではなく、仲間や周りの力を借りながら大きなプロジェクトを作っていく学生のみなさんはすごいなと感動した。
- 「地域情報便 じもっと!! 夏休みスペシャル 帷子川を歩く」は、あっという間の30分間だった。出演者も話していたが「始まり」を知ることが大切と感じた。興味を持って見ることができ、面白かった。

- X (旧ツイッター) や Instagram のフォロワーはもっと増やしていけるのではないかな。もっと広く知ってもらえないかと思っているので、協力できることがあればお声がけください。
- 「地域情報便 じもっと!! 夏休みスペシャル 帷子川を歩く」について、名前は知っていても歴史や源流の在りかなど知らないことが多く興味深かった。
- 散歩に行けるような、地元の知る人ぞ知る場所 (穴場) も紹介していただきたい。
- 「地域情報便 じもっと!! 今日はココから じもっとDが行く」は、一般の方のお話も面白く心に染みってくる。ディレクターが自分の目線で一生懸命取り組んでおり、なんでも綺麗にできる時代だが手作り感があるのはよいと思う。
- ライブカメラで流れている曲名などを出せないのはなぜか。
- 「グリーン・カレッジ 2024 沖縄・久米島」は、子どもたちのゴミ拾いなど、大人も番組を見て「ポイ捨てをやめよう」など変わってもらえるきっかけになってくれたらよいと思った。
- 「ヨココク TV」を見て、学生のみなさんにこのような経験や機会を作って、応援してあげたいと思った。特に「サコラボ」について、高齢化に悩む団地の方々を大学生たちがサポートしていることは素敵なことだと思った。災害等により地元や近所のつきあいが大切になってきているので、地元を大切にしようという点をさらにアピールしてほしい。
- 全国放送だとテレビの向こうの話とを感じるが、YCV だと自分側の人たちが出演しお話ししてくれることはこれからの時代にとっても大事なことだと思った。
- 横浜国立大学との連携がとても大事だと思う。学生はとてもパワーがあり、多くのアイデアや発想力を持っていて、色々な気づきをくれる。様々な場面で学生と交流をし、意見を聞かせてもらう機会があると番組や企画に厚みが出ると思う。
- 「地域情報便 じもっと!! 夏休みスペシャル 帷子川を歩く」は、地元で知っているようで知らない場所を取り上げており、斬新で興味をそそる内容だった。
- 以前放送した「新幹線公園」の中継もとてもよかった。保育園児や幼稚園児が新幹線を見に公園に行っている。そういう場所を YCV が取り上げることはとても素晴らしい。
- 町中華など、YCV エリアの方にアンケートを取り、好評なお店を紹介するのはどうか。

【田島社長／横浜ケーブルビジョンの業績・活動内容について】

- ・ 当社の概要について
- ・ 当社エリアおよび加入状況について
- ・ 会社組織について

<新サービスの導入について>

- ・ 2023年12月 「家族のスマホ保険」を開始
- ・ 2024年10月 防犯カメラサービス(戸建て向け)開始

<地域との取り組みについて>

- ① 泉区ゆめが丘地区「エリアマネジメント」参画について
- ② 防犯協会や警察との連携
- ③ 横浜国立大学との連携「地域連携シンポジウム」の特集

【増田副社長／挨拶】

YCV チャンネルについて議論いただき、ありがとうございます。

本日皆様からいただいたご意見を参考にさせていただき、地域の皆様と共に作り上げる番組、共に作り上げるチャンネルを心がけ取り組んでいきたい。